# ザ・市技選2012

第26回宇都宮スキー技術選手権大会



2012.2.11~2.12高畑スキー場

宇都宮スキー協会

## ザ・市技選2012

## 第26回宇都宮スキー技術選手権大会開催要項

- 1.期 日 平成24年2月11日(土)~2月12日(日)
- 2.会 場 福島県高畑スキー場
- 3.本 部 民宿 いとざわ TEL 0241-76-2364
- 4.大会会長 江連隆夫
- 5.大会副会長 小池洋一 田口順一 大塚康宏 宇賀神俊夫
- 6.大会委員長 入江正夫
- 7. 大会副委員長 濱野辰男 澤田 武
- 8.大会事務局 大谷昌弘
- 9.技術代表 分田久貴(ジュリー)
- 10.競技委員長 芳野哲也(ジュリー)
- 11. コース係長 大谷昌弘(ジュリー)
- 12. 審 判 長 川俣聖寿(ジュリー)
- 13. 審 判 員 分田久貴 芳野哲也 玉田政己 高野正基
- 14.記 録 係 宇賀神亨 羽石 浩 林 正春 永田修子 高橋千登勢
- 15. スタート審判 篠田 治
- 16. ゴール 審 判 宗川忠貴
- 17. クラス別 一般クラス(1級以上) マスターズクラス(40歳以上、2級程度以上) ビギナークラス(2級程度)

マスターズ、ビギナークラスの技術系種目は、小回り不整地(コブ)を除く3種目。

## 18.競技種目

1日目(1種目) 滑走数:2回

	種目	内容	
種 目	斜面 設定	コース設定	規制内容
大回転競技	中急斜面 整 地	フリー	あ り

## 2日目(4種目)

	種目	内容	
種目	斜面設定	コース設定	規制内容
大まわり	急斜面ナチュナル	フリー	なし
小まわり	急斜面ナチュナル	フリー	なし
総合滑降	中急斜面 規制有	フリー	あ り
小まわり	中急斜面 不整地	フリー	なし

(採点方法) 5審3採の合計得点とし公開とする。

大回転競技についてはタイムをポイント換算

(順位の決定)1日目はタイム順により決定する。(クラス別に男女3位まで表彰)

2日目は4種目の合計得点により決定する。(クラス別に男女3位まで表彰) 総合は1日目(ポイント換算得点)と2日目の合計得点により決定する。

(クラス別に男女上位選手を表彰)

19. その他 詳細については選手会でお知らせします。

# 大 会 日 程 表

第1日目(11日)		第2日目(12日)	
7:30	スタッフ集合	7:30	スタッフ集合
8:00	スタッフリフト搭乗	8:00	スタッフリフト搭乗
8:15	受 付(8:15~8:45)	8:15	2 日目のみ参加受付(8:15~8:45)
9:30	開会式(ブルーアウト上部)	9:15	選手会(猪谷上部)
9:45	選手会(ブルーアウト上部)	9:30	競技開始
10:00	インスペクション		(種目4種目)
10:20			大まわり 急・ナチュラル・フリー
10:45	競技開始		小まわり 急・ナチュラル・フリー
	(種目1種目)		総合滑降 中・ナチュラル・ウェーブ
11:45	大回転競技(1本目)		小まわり 中急・不・フリー
	昼食・セット替え		
13:00	インスペクション		
13:20			
13:45	大回転競技(2本目)		
14:45			
15:00	競技終了	14:30	競技終了
16:00	大回転競技成績発表・表彰式	15:30	表彰式及び閉会式
16:30	ノヘにコテムルルコメルルが見ずしてく ** イベ早シエト	16:15	1×4/1/× 〇 四 云 1 / 0

日程は天候及び競技環境等により時間・種目の変更をすることがある。なお、変更がある場合は公式掲示によって通知する。

## 宇都宮スキー技術選手権大会競技規則

宇都宮スキー協会大会本部

競技規則を次のとおり定める。

### 1 技術系種目

- (1)競技者は種目別スタート地点に10分前に集合し、スタート審判のコールを受け応答しなければならない。
- (2)競技者は前者の出発後、直ちにスタート地点に立ち出発のための準備をしなければならない。
- (3)競技者はスタート審判の出発合図により出発しなければならない。ただし、直ちに出発しない場合は当該種目は棄権とする。
- (4)フィニッシュは、競技コートの下方に設けられた旗門を結ぶ、フィニッシュ・ラインを通過後停止して演技を終了 しなければならない。
- (5)転倒等により、演技を中断した場合には、その位置から速やかに再スタートをする。ただし、再スタートに時間を要すると判断される場合は速やかにコート端に移動し、競技役員の指示のもとに再スタートの準備をして待機する。
- (6)途中棄権をした場合の当該種目の得点は、0点となるが次の種目からの出場権は、保持される。
- (7)用具の離脱については、競技者自身で処理し、他の援助は認められない。ただし、競技進行上あるいは安全確保から競技役員が処理した場合及びコート区画網外に飛び出した用具を観衆がコート内に入れた場合はこの限りでない。
- (8)競技コート設定後のインスペクションは、コート外から行い、コート内への立ち入りは出来ない。
- (9)種目の規定違反は、各審判員1~3点の範囲をもって減点した採点を表示する。
- (10)天候により競技種目の割愛、使用コートまたは競技内容の変更をする場合がある。その他、不測の事態が生じた場合は、大会委員長及び大会役員に委ねる。
- (11) 高速系の種目では、自己責任において、ヘルメット着用を推奨する。
- (12)円滑な競技運営を図るため大会本部より別途公式掲示により通知をする。

## 2 大回転競技種目

- (1)インスペクション
  - 1)ゼッケンは見えるようにする。スタートからゴールへ横滑りで行いセットと類似したターンを行ってはならない。
  - 2)決められた時間外のコース内立ち入りを禁止する。インスペクション中は、フィニッシュラインを通過しない。

## (2)スタート

- 1) 点呼は、スタート地点で、スタート10分前に行う。原則としてスタート時間に遅れた選手は失格とする。
- 2)電光計時のスタートの場合、スタートは定時の前後それぞれ5秒以内で行い、5秒以上早くスタートした選手は失格、5秒以上後にスタートした選手は定刻より5秒だけ遅れたとみなされる。
- 3)スタートする選手は、スタートラインの前の雪中にストックをついたままスタートをし、ジャンピングスタートは 行わない。また、スタート前に、ストック、身体等でスタートバーに触れてはならない。

#### (3)レース中

- 1)追い抜こうとする選手及び旗門員の呼びかけがあったら速やかにコースを譲る。
- 2)レース中は、どんな形でも第三者の援助を受けてはならない。援助を受け、再スタートした場合は失格となる。
- 3)途中棄権者は旗門員に意志表示し、速やかにコース外に出、フィニッシュラインを通過してはならない。
- 4)選手は両スキーで両ポールを結ぶ線を横切ったとき、正しく旗門を通過したとみなされる。
- 5)自己責任において、ヘルメット着用を推奨する。

#### (4)再レース

- 1)コース上で役員、観客、選手等により妨害された時は、競技を中止し、旗門員に確認の上コースアウトし、5分以内にゴールハウス内のジュリーに申し出る。
- 2)失格、計算の誤り、誤記録の抗議は、公式掲示時刻から5分以内にゴールハウス内のジュリーに申し出る。他は全日本スキー連盟競技規則に準ずる。